

学校現場における道徳教育改革への対応と意識（1）

—「特別の教科 道徳」全国調査の統計分析を中心として—

押谷由夫（武庫川女子大学大学院）
 矢作信行（武庫川女子大学大学院生）
 齋藤道子（武庫川女子大学大学院生）
 木崎ちのぶ（武庫川女子大学大学院生）
 谷山優子（武庫川女子大学大学院生）

1. 研究の動機

現在文部科学省では、道徳教育の抜本的改善・充実を掲げて、道徳教育の充実を図っている。その中核に「特別の教科 道徳」の設置がある。そして、今年度から小学校で、来年度から中学校で全面实施される。

学校現場では、その対応に様々に取り組んでいるが、このような道徳教育改革にどのような意識をもっているのだろうか。行政的取組みは、学校現場に強制されるという意識をもたれがちである。どのような行政的取組みでも、学校教育をより充実させるためのものであり、そのことにかかわって慎重に検討して決定される。

しかし、どれだけ慎重に検討されたものであっても、それを実行する側の捉え方が、やらされるといった受動的認識であれば、効果は期待できない。

そこで、全面实施されるこの時期に、学校現場の教師の意見を調査し、教師がその意義を理解し、主体的に取り組む、意図される効果を上げられるようにするための対策を行うことが求められる。

2. 本研究の目的と方法

本研究は、小学校で全面实施に入る前の2018年3月現在において、学校現場の状況を把握すべく、全国調査を行い、学校現場の教師の意識と実際の取組み等について把握する。そして、その結果を基に、学校現場の教職員がより主体的、意欲的に道徳教育改善・充実に取り組んでいただけるようにするための提案を行うことを目的とする。

3. 調査の方法

調査対象校の選定は『全国学校総覧 2017年度』（原書房）より、全国47都道府県の全部の小学校・中学校から、およそ1割の学校を無作為に抽出し、アンケート用紙を送付するという方法を取った。

発送学校数は、3,336校。回収学校数は、981校。回収率は、29.4%である。学校種別および地域別のサンプルは表の通りである。

表1 学校種別、地域別のサンプル数

I-3 学校の種類					I-4 地域											
全	小学校	中学校	小学校 中一貫校・ 義務教育	不 明	全	北海道・ 東北	関東	甲信越	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	不 明	
981	663	313	4	1	981	178	196	54	36	101	157	85	46	127	1	
100	67.6	31.9	0.4	0.1	100	18.1	20	5.5	3.7	10.3	16	8.7	4.7	12.9	0.1	

4 調査の内容

大きく次のような内容について尋ねている。

- 1 学校教育全体で取り組む道徳教育について
 - ・道徳教育部会などの組織の有無
 - ・全体計画の中で書かれている内容
 - ・具体的な教育活動との関連 等
- 2 「特別の教科 道徳」（道徳の時間）の年間指導計画について
 - ・年間指導計画に書かれている内容
 - ・郷土資料などの配分
 - ・関連する教育活動の明記
 - ・重点的指導の工夫
 - ・道徳の授業を学校全体で取り組む体制 等
- 3 道徳の授業について
 - ・道徳授業の研修
 - ・授業の変化を感じているところ
 - ・道徳ノート等の使用
 - ・授業改善について求められていることとその効果についての意識
 - ・今年度道徳の授業で使用した教材 等
- 4 自分の勤める学校の先生方の様子について
 - ・道徳教育の大切さの理解
 - ・「特別の教科 道徳」の理解
 - ・道徳教育への熱心度
 - ・自分自身のことでもあると考えている教師
 - ・道徳の授業を楽しんでいる教師 等
- 5 回答いただいた教師の意識について
 - ・道徳の授業を積み重ねていけば、子どもたちの道徳性は高められる
 - ・教師は、自分の生き方を子どもたちにもっと話すべきだ
 - ・どのような子どもたちも、学校に来ればしっかりと成長できる
 - ・学力の育成は、道徳教育を充実させることで高められる
 - ・いじめなどの子どもたちの問題行動は、道徳教育を充実させることである程度改善される 等
- 6 具体的要望について
- 7 自由に意見等を記述してもらう

5 調査の結果と分析

1. 各校の道徳教育への対応

(1) 道徳教育推進教師の特徴

道徳教育推進教師（道徳主任）はどのような先生がなられていますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・ 甲信越	北陸・ 中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
ベテランの先生	341 35%	245 37%	96 31%	85 37%	46 34%	75 42%	79 32%	50 37%	47 31%	50 38%	40 32%
中堅の先生	479 49%	311 47%	168 54%	107 46%	73 55%	87 49%	128 52%	64 47%	77 50%	51 39%	72 57%
若手の先生	148 15%	101 15%	47 15%	39 17%	14 10%	15 9%	40 16%	21 15%	28 18%	29 22%	15 12%
複数の先生	4 0%	3 1%	1 0%	0 0%	1 1%	0 0%	1 0%	1 1%	1 1%	1 1%	0 0%
合計	972	660	312	231	134	177	248	136	153	131	127

※ 約85%がベテラン、中堅教師が担当。小、中学校の差はない。地域別では、北海道・東北が若手が少なく、中国・四国は若手が多い。

(2) 道徳教育を重視している学校の割合

学校経営において道徳教育が重視されていますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・ 甲信越	北陸・ 中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
重視されている	370 38%	281 43%	89 28%	96 42%	49 37%	75 42%	94 38%	42 31%	55 36%	46 35%	58 46%
まあまあ重視されている	487 50%	317 48%	170 54%	119 52%	60 45%	91 51%	114 46%	81 60%	76 49%	65 50%	60 47%
あまり重視されていない	110 11%	60 9%	50 16%	16 7%	24 18%	11 6%	37 15%	13 10%	21 14%	20 15%	8 6%
重視されていない	6 1%	2 0%	4 1%	0 0%	1 1%	0 0%	3 1%	0 0%	2 1%	0 0%	1 1%
合計	973	660	313	231	134	177	248	136	154	131	127

※ 9割の学校が道徳教育を重視している。小規模校より大規模校に道徳教育重視の傾向がある。

(3) 道徳教育を推進させるための組織をつくっている割合

学校全体で道徳教育を推進するための組織を作っていますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・ 甲信越	北陸・ 中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
作っている	540 57%	369 58%	171 56%	95 42%	93 72%	89 51%	156 64%	50 39%	107 71%	64 50%	74 61%
来年度作る予定で ある	70 7%	46 7%	24 8%	14 6%	4 3%	16 9%	20 8%	12 9%	9 6%	8 6%	5 4%
作っていない	336 36%	223 35%	113 37%	117 52%	32 25%	68 39%	68 28%	66 52%	35 23%	56 44%	43 35%
合計	946	638	308	226	129	173	244	128	151	128	122

※ 道徳教育を組織を作って取り組んでいる学校が6割近く。小、中学校での差はないが、大規模校は組織的に取り組む学校が多い。

2. 全体計画について

(1) 全体計画における行動目標の取り入れ具合

Ⅱ-3 行動目標の取り入れ具合

全体	多く 入れている	まあまあ 入れている	あまり 入っていない	ほとんど 入っていない	不明
981	57	349	316	200	59
100	5.8	35.6	32.2	20.4	6

※ 全体計画に行動目標を入れている学校は半分程度である。

(2) 全体計画に書かれている内容

Ⅱ-2 全体計画に入れている内容

	全体	具体的 に入れている	基本方針 として入れている	入れて いない	不明
1. 子どもたち一人一人への心の安定や道徳的対応 について	981 100	235 24	527 53.7	211 21.5	8 0.8
2. 環境の整備について	981	236	492	243	10

	100	24.1	50.2	24.8	1
3. 学級における道徳教育の取り組みについて	981	414	404	159	4
	100	42.2	41.2	16.2	0.4
4. 学年（学年段階）における道徳教育の取り組みについて	981	538	392	45	6
	100	54.8	40	4.6	0.6
5. 重点的取り組みの実施計画について	981	507	365	102	7
	100	51.7	37.2	10.4	0.7
6. 国際化への対応について	981	142	492	338	9
	100	14.5	50.2	34.5	0.9
7. 情報化への対応について	981	134	481	359	7
	100	13.7	49	36.6	0.7
8. 環境問題への対応について	981	147	473	353	8
	100	15	48.2	36	0.8
9. 福祉問題への対応について	981	177	469	325	10
	100	18	47.8	33.1	1
10. 近接の学校や幼児教育施設との連携について	981	196	386	391	8
	100	20	39.3	39.9	0.8
11. 道徳教育の研究計画について	981	291	304	375	11
	100	29.7	31	38.2	1.1

(小学校、中学校の比較)

※ 全体計画に入れていない学校が多いのが、近接の学校や幼児教育施設との連携について、道徳教育の研修計画について、情報化、国際化、への対応や、環境問題、福祉問題への対応があげられる。また、子どもたち一人一人への対応や環境整備についても明記していない学校が多い。小、中学校比較では、あまり大きな差はなく、小、中学校ともに考えられる課題であると言える。

(3) 全体計画で示したことが各教育活動の中に生かされているか

II-4 全体計画で生かされている項目

	全 体	生 か さ れ て い る	ま あ ま あ 生 か さ れ て い る	あ ま り 生 か さ れ て い な い	ほ と ん ど 生 か さ れ て い な い	不 明
1. 道徳の時間（「特別の教科 道徳」）の年間指導計画に生かされている	981 100	439 44.8	431 43.9	85 8.7	19 1.9	7 0.7
2. 各学年の道徳教育に生かされている	981 100	386 39.3	498 50.8	74 7.5	16 1.6	7 0.7
3. 各学級の道徳教育に生かされている	981 100	324 33	512 52.2	114 11.6	22 2.2	9 0.9
4. 各教科の指導計画に生かされている	981 100	199 20.3	470 47.9	262 26.7	43 4.4	7 0.7
5. 特別活動の指導計画に生かされている	981 100	197 20.1	535 54.5	214 21.8	28 2.9	7 0.7
6. 学級活動の指導計画に生かされている	981 100	186 19	552 56.3	208 21.2	28 2.9	7 0.7
7. 総合的な学習の時間の指導計画に生かされている	981 100	174 17.7	504 51.4	251 25.6	43 4.4	9 0.9
8. 日常生活の指導に生かされている	981 100	281 28.6	545 55.6	128 13	20 2	7 0.7
9. 家庭との連携に生かされている	981 100	161 16.4	497 50.7	277 28.2	39 4	7 0.7
10. 地域との連携に生かされている	981 100	149 15.2	443 45.2	314 32	65 6.6	10 1

	回 答						合 計		
	生かされている			生かされていない					
	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校	全体	小学校	中学校
1.道徳の時間（「特別の教科 道徳」）の年間指導計画に生かされている	865 89%	606 92%	259 83%	104 11%	52 8%	52 17%	969 100%	658 100%	311 100%
2.各学年の道徳教育に生かされている	880 91%	611 93%	269 87%	89 9%	47 7%	42 14%	969 100%	658 100%	311 100%
3.各学級の道徳教育に生かされている	832 86%	584 89%	248 80%	135 14%	73 11%	62 20%	967 100%	657 100%	310 100%
4.各教科の指導計画に生かされている	664 69%	500 76%	164 53%	305 32%	158 24%	147 47%	969 100%	658 100%	311 100%
5.特別活動の指導計画に生かされている	727 75%	509 77%	218 70%	242 25%	149 23%	93 30%	969 100%	658 100%	311 100%
6.学級活動の指導計画に生かされている	733 76%	513 78%	220 71%	236 24%	145 22%	91 29%	969 100%	658 100%	311 100%
7.総合的な学習の時間の指導計画に生かされている	674 70%	475 72%	199 64%	293 30%	182 28%	111 36%	967 100%	657 100%	310 100%
8.日常生活の指導に生かされている	821 85%	572 87%	249 80%	148 15%	86 13%	62 20%	969 100%	658 100%	311 100%
9.家庭との連携に生かされている	655 68%	477 73%	178 57%	314 32%	181 28%	133 43%	969 100%	658 100%	311 100%
10.地域との連携に生かされている	589 61%	438 67%	151 49%	377 39%	218 33%	159 51%	966 100%	656 100%	310 100%

※ 全体計画で示していることが、それぞれの教育活動の中でどの程度生かされているかを見ると、あまり生かされていないと判断された項目には、各教科の指導計画、特別活動や学級活動の指導計画、総合的な学習の時間の指導計画、家庭との連携があげられる。いずれも2割から3割近くの学校で生かされていないと判断している。その中で、小、中学校の差が顕著なのは、学級の道徳教育と各教科の指導計画への生かされ方である。

(4) 別葉の作成の有無

II-5 道徳の指導内容項目と関連づけた別葉の作成有無

全体	作成している	来年度作成する予定である	作成していない	不明
981	622	165	158	36
100	63.4	16.8	16.1	3.7

※ 別葉を作成している学校は、63.4%である。

(5) 重点目標について指導計画を具体的に示しているかどうか

II-6 重点目標について具体的計画を示しているか

全体	具体的な計画を示している	来年度に具体的な計画を示そうと考えている	具体的な計画は示していないが基本的方針は示している	基本的方針も具体的な計画も示していない	不明
981 100	275 28	296 30.2	323 32.9	53 5.4	34 3.5

重点目標などを「特別の教科 道徳」（道徳の時間）を要として関連する教育活動や日常生活とかかわらせて指導していく必要がありますが、そのような指導計画について示していますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人以下	701人以上	北海道・東北	関東・甲信越	北陸・中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
具体的な計画を示している	273 29%	219 35%	54 18%	65 29%	43 34%	51 30%	61 26%	35 26%	36 25%	54 43%	36 29%
来年度に具体的な計画を示そうと考えている	295 31%	198 31%	97 32%	85 38%	28 22%	59 35%	72 30%	43 32%	43 29%	40 32%	38 30%
具体的な計画は示していないが基本的方針は示している	321 34%	196 31%	125 41%	59 27%	53 41%	53 31%	88 37%	45 34%	63 43%	25 20%	47 38%
基本的方針も具体的な計画も示していない	53 6%	22 4%	31 10%	14 6%	4 3%	8 5%	18 8%	10 8%	5 3%	8 6%	4 3%
合計	942	635	307	223	128	171	239	133	147	127	125

※ 重点目標について指導計画を具体的に示している学校は、3割程度である。中学校においては15%程度である。

(6) 家庭や地域との連携の内容について

II-7 家庭や地域との連携について

	全体	よく行っている	ある程度は行っている	あまり行っていない	行っていない	不明
1. 家庭への学校だよりの配布	981 100	736 75	193 19.7	29 3	23 2.3	- -
2. 地域への学校だよりの配布	981 100	505 51.5	249 25.4	106 10.8	118 12	3 0.3

3. 地域の人たちも参加いただく催し	981 100	289 29.5	457 46.6	161 16.4	70 7.1	4 0.4
4. 保護者や地域の人たちに協力いただく授業	981 100	251 25.6	466 47.5	191 19.5	70 7.1	3 0.3
5. 保護者や地域の人たちと一緒に話し合える機会	981 100	180 18.3	479 48.8	226 23	91 9.3	5 0.5
6. 道徳授業の地域の人たちの公開	981 100	211 21.5	351 35.8	216 22	197 20.1	6 0.6

※ 学校だより等の家庭への配布や地域への配布、保護者や地域の人の協力いただく授業、地域の人たちへの道徳授業の公開などが積極的に取り組まれている。保護者や地域の人たちと話し合える機会を設けることも取り組まれている。ただ、あまり行っていない、行っていないと回答された学校が4分の1ほどあり、今後の課題であると言える。

(7) 今年度に行った道徳教育の研修計画の回数

II-10 今年度の道徳教育の研修計画を行った回数

全体	行っていない	1～2回行った	3～4回行った	5～9回行った	11回以上行った	不明
981 100	104 10.6	513 52.3	234 23.9	77 7.8	48 4.9	5 0.5

※ 平成28年度中に行われた道徳教育の研修計画の回数は、半分の学校が1～2回である。行っていない学校も1割ある。

3. 年間指導計画について

(1) 年間指導計画に書いている内容

III-1 年間指導計画に入れているか

	全体	入れている	ときどき入れている	少し入れている	入っていない	不明
1. 基本的発問	981 100	356 36.3	71 7.2	104 10.6	440 44.9	10 1
2. 板書計画	981 100	54 5.5	64 6.5	111 11.3	742 75.6	10 1
3. 事前の指導に関すること	981 100	107 10.9	152 15.5	217 22.1	495 50.5	10 1

4. 事後の指導に関すること	981 100	111 11.3	150 15.3	223 22.7	487 49.6	10 1
5. 家庭との連携に関すること	981 100	81 8.3	150 15.3	282 28.7	457 46.6	11 1.1
6. 地域との連携に関すること	981 100	72 7.3	133 13.6	281 28.6	485 49.4	10 1

※ 基本的発問を入れていない学校が 44.9%ある。年間指導計画に板書計画や事前事後の指導等の記入は難しいが、それらを入れている学校も5%から1割近くある。また、家庭や地域との連携に関しても同じような傾向にある。

(2) 郷土資料や学校独自に開発した教材の活用数

Ⅲ-2 郷土教材や学校独自に開発した教材を取り入れた教材数

全体	入れていない	1～2教材 入れている	3～5教材 入れている	6～10教材 入れている	11教材以上 入れている	不明
981 100	266 27.1	499 50.9	167 17	35 3.6	10 1	4 0.4

※ 郷土教材や学校独自に開発した教材を取り入れていない学校が4分の1程度ある。また取り入れている場合も半数の学校が1～2教材である。

(3) 道徳の時間全体を振り返る時間を年間指導計画に設けているか

Ⅲ-3 道徳の授業全体を振り返る時間の有無

全体	設けている	来年度は設けよう と思っている	設けていない	不明
981 100	177 18	275 28	524 53.4	5 0.5

※設けている学校が2割程度である。3割程度の学校が来年度設けようとしている

(4) 道徳の授業と関連する教育活動を明記しているか

Ⅲ-4 「特別の教科 道徳」の各授業と関連する教育活動の明記有無

全体	全部の授業に明記している	多くの授業に明記している	少しの授業に明記している	明記していない	不明
981 100	177 18	287 29.3	250 25.5	259 26.4	8 0.8

※ 全部の授業で明記している学校が2割程度である。明記していない学校が4分の1以上ある。

(5) 学校全体で道徳の授業に取り組む体制ができているか

学校全体で道徳の授業に取り組む体制ができていますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・ 甲信越	北陸・ 中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
できている	337 35%	259 39%	78 25%	73 32%	45 34%	64 37%	82 33%	48 35%	56 36%	38 29%	50 40%
だいたいできている	346 36%	236 36%	110 35%	86 38%	47 35%	58 33%	96 39%	50 37%	46 30%	48 37%	47 37%
少しできている	239 25%	141 21%	98 32%	62 27%	34 25%	49 28%	52 21%	36 26%	45 29%	35 27%	22 18%
できていない	48 5%	23 4%	25 8%	8 4%	8 6%	4 2%	18 7%	3 2%	7 5%	9 7%	7 6%
合計	970	659	311	229	134	175	248	137	154	130	126

※ 学校全体で道徳の授業に取り組む体制ができている学校は、7割である。できてリルト回答した学校の割合が小、中学校と比較すると15%ほど小学校が多い。地域的には、できていると回答した比率は、中国・四国が低くなっている。

4. 道徳の授業について

(1) 今年度行った道徳授業研修回数

今年度に学校全体で道徳授業の研修を行った回数

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・甲 信越	北陸・中 部	近畿	中国・四 国	九州・沖 縄
行っていない	170 18%	94 14%	76 24%	45 20%	20 15%	36 21%	53 21%	22 16%	22 14%	18 14%	19 15%
1～3回行った	616 63%	418 63%	198 64%	157 68%	80 60%	114 65%	146 59%	88 65%	102 67%	86 66%	79 62%
4～6回行った	113 12%	87 13%	26 8%	18 8%	20 15%	12 7%	35 14%	16 12%	18 12%	15 12%	17 13%
7～10回行った	38 4%	33 5%	5 2%	5 2%	7 5%	6 3%	7 3%	5 4%	9 6%	6 5%	5 4%
10回以上行った	35 4%	29 4%	6 2%	6 3%	7 5%	8 5%	8 3%	5 4%	2 1%	6 5%	7 6%
合計	972	661	311	231	134	176	249	136	153	131	127

※ 平成28年度に道徳の授業研修を行っていない学校が17、5%である。1～3回が63、4%になっている。

(2) 先生方が集まっての道徳授業の話し合いの頻度

IV-2 各学年や学年段階で先生方が集まられての道徳授業の話し合いは行われていますか

	全体	校種別		学校規模		地域別					
		小学校	中学校	200人 以下	701人 以上	北海道・ 東北	関東・甲 信越	北陸・中 部	近畿	中国・四 国	九州・沖 縄
よく行われている	135 14%	81 12%	54 17%	27 12%	23 17%	14 8%	28 11%	17 13%	27 18%	21 16%	29 23%
ときどき行われている	454 47%	307 47%	147 47%	99 43%	65 49%	68 39%	118 48%	69 51%	79 51%	62 48%	57 45%
あまり行われていない	289 30%	216 33%	73 24%	72 31%	36 27%	70 40%	75 31%	39 29%	36 23%	32 25%	37 29%
ほとんど行われていない	89 9%	53 8%	36 12%	31 14%	9 7%	23 13%	24 10%	11 8%	12 8%	15 12%	4 3%
合計	967	657	310	229	133	175	245	136	154	130	127

※ 先生方が集まって道徳授業の話をする学校は6割になっている。ほとんどないと答えた学校も1割近くある。

(3) 今年度の道徳の授業で変わったと思うこと

IV-3 今年度の道徳授業の変化						
	校種別	かなり 変わっ てき ている	だいぶ 変わっ てき ている	あまり 変わっ てい ない	ほとんど 変わっ てい ない	合計
1、低学年の道徳授業 (中学校では1年)	小学校	58 9%	288 44%	270 42%	35 5%	651 100%
	中学校	35 11%	127 41%	130 42%	20 6%	312 100%

	全体	93 10%	415 43%	400 42%	55 6%	963 100%
2、中学年の道徳授業 (中学校では2年)	小学校	60 9%	293 45%	263 41%	34 5%	650 100%
	中学校	35 11%	115 37%	136 44%	27 9%	313 100%
	全体	95 10%	408 42%	399 41%	61 6%	963 100%
3、高学年の道徳授業 (中学校では3年)	小学校	72 11%	296 46%	245 38%	37 6%	650 100%
	中学校	30 10%	106 34%	149 48%	28 9%	313 100%
	全体	102 11%	402 42%	394 41%	65 7%	963 100%
4、事前の指導の工夫	小学校	43 7%	236 36%	319 49%	55 8%	653 100%
	中学校	18	105	164	26	313
		6%	34%	52%	8%	100%
全体	61 6%	341 35%	483 50%	81 8%	966 100%	
5、導入の工夫	小学校	69 11%	296 45%	248 38%	40 6%	653 100%
	中学校	30 10%	137 44%	131 42%	14 5%	312 100%
	全体	99 10%	433 45%	379 39%	54 6%	965 100%
6、教材提示の工夫	小学校	73 11%	294 45%	249 38%	36 6%	652 100%
	中学校	35 11%	143 46%	120 38%	15 5%	313 100%
	全体	108 11%	437 45%	369 38%	51 5%	965 100%
7、展開の工夫	小学校	96 15%	307 47%	216 33%	34 5%	653 100%
	中学校	39 13%	133 43%	125 40%	16 5%	313 100%

	全体	135 14%	440 46%	341 35%	50 5%	966 100%
8、終末の工夫	小学校	74 11%	285 44%	259 40%	35 5%	653 100%
	中学校	29 9%	127 41%	138 44%	19 6%	313 100%
	全体	103 11%	412 43%	397 41%	54 6%	966 100%
9、教材の多様性	小学校	56 9%	246 38%	308 47%	42 6%	652 100%
	中学校	39 13%	137 44%	123 39%	14 5%	313 100%
	全体	95 10%	383 40%	431 45%	56 6%	965 100%
10、事後の指導の工夫	小学校	45 7%	224 34%	333 51%	51 8%	653 100%
	中学校	16 5%	90 29%	185 59%	22 7%	313 100%
	全体	61 6%	314 33%	518 54%	73 8%	966 100%
11、板書の工夫	小学校	89 14%	287 44%	247 38%	29 4%	652 100%
	中学校	23 7%	109 35%	165 53%	16 5%	313 100%
	全体	112 12%	396 41%	412 43%	45 5%	965 100%
12、子どもたちへの対応	小学校	74 11%	325 50%	223 34%	31 5%	653 100%
	中学校	19 6%	149 48%	131 42%	14 5%	313 100%
	全体	93 10%	474 49%	354 37%	45 5%	966 100%
13、授業の評価	小学校	75 12%	274 42%	258 40%	43 7%	650 100%
	中学校	12 4%	103 33%	155 50%	39 13%	309 100%

	全体	87 9%	377 39%	413 43%	82 9%	959 100%
--	----	----------	------------	------------	----------	-------------

※ 肯定的回答と否定的回答がそれぞれの項目にわたって半々であることが多い。その中で肯定的回答が多いのは、導入の工夫、教材提示の工夫、展開の工夫、終末の工夫、子どもたちへの対応があげられる。確実に授業が改善されていることがうかがえる。板書の工夫、子どもたちへの対応、授業の評価については、小、中学校差がみられる。小学校の方がそれぞれにおいて肯定的回答が高くなっている。

(4) 道徳ノートや道徳ファイルを使っている割合

IV-4 道徳ノートや道徳ファイルを持たせているか

	全体	ほとんどのクラスで持たせている	多くのクラスで持たせている	少しのクラスで持たせている	持たせていない	不明
1. 道徳ノート	981 100	219 22.3	91 9.3	194 19.8	472 48.1	5 0.5
2. 道徳ファイル	981 100	289 29.5	141 14.4	201 20.5	348 35.5	2 0.2

※ 道徳ノートを持たせている学校が5分の1以上あるが、持たせていない学校が半数近くある。道徳ファイルは、3割近くの学校で持たせている。持たせていない学校も35%ある。

(5) 提案されている道徳授業の効果について

IV-5 道徳の授業の改善について						
	校種別	効果的だと思う	まあまあ効果的だと思う	あまり効果的だとは思わない	効果的だとは思わない	合計
1、登場人物への自我関与中心の授業	小学校	308 47%	287 44%	58 9%	7 1%	660 100%
	中学校	101 33%	163 52%	42 14%	5 2%	311 100%
	全体	409 42%	450 46%	100 10%	12 1%	971 100%
2、問題解決的な授業	小学校	346 53%	260 40%	47 7%	6 1%	659 100%

	中学校	160 51%	132 42%	19 6%	1 0%	312 100%
	全体	506 52%	392 40%	66 7%	7 1%	971 100%
3、道徳的行為に関する体験的な授業	小学校	350 53%	262 40%	42 6%	7 1%	661 100%
	中学校	151 48%	134 43%	27 9%	1 0%	313 100%
	全体	501 51%	396 41%	69 7%	8 1%	974 100%
4、各教科との関連を重視した授業	小学校	198 30%	342 52%	112 17%	9 1%	661 100%
	中学校	49 16%	169 54%	87 28%	8 3%	313 100%
	全体	247 25%	511 53%	199 20%	17 2%	974 100%
5、学級活動との関連を明確にした授業	小学校	296 45%	310 47%	53 8%	3 1%	662 100%
	中学校	124 40%	156 50%	30 10%	3 1%	313 100%
	全体	420 43%	466 48%	83 9%	6 1%	975 100%
6、総合の時間との関連を明確にした授業	小学校	220 33%	340 51%	94 14%	7 1%	661 100%
	中学校	83 27%	169 54%	57 18%	3 1%	312 100%
	全体	303 31%	509 52%	151 16%	10 1%	973 100%
7、学級経営との連携を重視した授業	小学校	371 56%	251 38%	37 6%	3 1%	662 100%
	中学校	141 45%	144 46%	26 8%	2 1%	313 100%
	全体	512 53%	395 41%	63 7%	5 1%	975 100%
8、日常生活との関連を重視した授業	小学校	421 64%	212 32%	25 4%	3 1%	661 100%
	中学校	189 60%	112 36%	11 4%	1 0%	313 100%

	全体	610 63%	324 33%	36 4%	4 0%	974 100%
--	----	------------	------------	----------	---------	-------------

- ※ 現在提案されている登場人物への自我関与中心の授業や問題解決的な授業、道徳的行為に関する体験的な授業については9割以上の学校で「効果的」、「まあまあ効果的」ととらえている。
また、学級活動との連携や学級経営との連携、日常生活との連携を考慮した授業も、9割以上の学校において効果的であるととらえている。
小、中学校で比較すると、自我関与を重視する授業は小学校が効果的だととらえている学校が多い。各教科との連携も小、中学校の差が多く出ている。そのほかは、小、中学校同様の傾向を指摘できる。

(6) 今年度の道徳の授業で使用した教材

IV-6 今年度の道徳の授業で使用した教材

	全体	よく使った	ときどき使った	少し使った	ほとんど使っていない	そのようなものはない	不明
1. 文部科学省発行の『私たちの道徳』	981 100	290 29.6	406 41.4	200 20.4	74 7.5	6 0.6	5 0.5
2. 都道府県や市町村などで開発された「道徳教材資料」	981 100	138 14.1	299 30.5	258 26.3	216 22	67 6.8	3 0.3
3. 民間が発行する副読本	981 100	530 54	151 15.4	93 9.5	119 12.1	83 8.5	5 0.5
4. 学校が独自に開発した教材	981 100	41 4.2	91 9.3	166 16.9	235 24	442 45.1	6 0.6

※ 『私たちの道徳』は、9割以上の学校で何らかの方法で使われている。教育委員会等関で開発された「道徳教材や資料」は7割近くの学校で、使われている。民間の『副読本』も8割近くが何らかの形で使われている。学校独自に開発した資料は約3割の学校で使われている。

(7) 今年度、民間の副読本を使っている状況

IV-7 今年度で民間の副読本の使用有無

全体	公費で購入し全員に持たせて使った	公費で購入し学級ごとに保管して使った	公費で購入し学校に保管して使った	保護者に私費で購入してもらい全員で使った	購入していない	不明
981 100	94 9.6	110 11.2	162 16.5	237 24.2	287 29.3	91 9.3

※ 平成28年度で民間の『副読本』が使われた状況を調べてみると、個人持ちにして使っている学校が35%ほどである。

5. 道徳教育に関する先生方の意識

(1) 道徳教育に対する先生方の意識

V-1 道徳教育に対する先生の理解度						
	校種別	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	ほとんど 変わって いない	合計
1、道徳教育の大切さについて理解している	小学校	339 51%	294 45%	23 4%	5 1%	661 100%
	中学校	133 43%	155 50%	25 8%	0 0%	313 100%
	全体	472 49%	449 46%	48 5%	5 1%	974 100%
2、道徳教育の目標について理解している	小学校	197 30%	384 58%	74 11%	6 1%	661 100%
	中学校	79 25%	161 51%	70 22%	3 1%	313 100%
	全体	276 28%	545 56%	144 15%	9 1%	974 100%
3、「特別の教科 道徳」の大切さについて理解している	小学校	289 44%	312 47%	54 8%	6 1%	661 100%
	中学校	93 30%	160 51%	56 18%	3 1%	312 100%
	全体	382 39%	472 49%	110 11%	9 1%	973 100%
4、「特別の教科 道徳」の目標について理解している	小学校	179 27%	373 56%	102 15%	7 1%	661 100%
	中学校	43 14%	166 53%	99 32%	5 2%	313 100%
	全体	222 23%	539 55%	201 21%	12 1%	974 100%
5、「特別の教科 道徳」の指導方法について理解している	小学校	115 17%	380 58%	158 24%	7 1%	660 100%

る	中学校	28 9%	163 52%	113 36%	9 3%	313 100%
	全体	143 15%	543 56%	271 28%	16 2%	973 100%
6、「特別の教科 道徳」の評価について理解している	小学校	83 13%	312 47%	241 37%	24 4%	660 100%
	中学校	22 7%	113 36%	144 46%	34 11%	313 100%
	全体	105 11%	425 44%	385 40%	58 6%	973 100%
7、道徳教育に熱心な教師が多い	小学校	116 18%	356 54%	179 27%	8 1%	659 100%
	中学校	51 16%	146 47%	110 35%	6 2%	313 100%
	全体	167 17%	502 52%	289 30%	14 1%	972 100%
8、道徳の授業に熱心な教師が多い	小学校	107 16%	335 51%	207 31%	10 2%	659 100%
	中学校	50 16%	135 43%	119 38%	9 3%	313 100%
	全体	157 16%	470 48%	326 34%	19 2%	972 100%
9、道徳教育は自分自身のことでもあると思っている教師が多い	小学校	95 15%	317 49%	227 35%	14 2%	653 100%
	中学校	41 13%	131 42%	124 40%	16 5%	312 100%
	全体	136 14%	448 46%	351 36%	30 3%	965 100%
10、道徳授業を楽しんでいる教員が多い	小学校	43 7%	259 39%	331 50%	24 4%	657 100%
	中学校	24 8%	107 34%	159 51%	23 7%	313 100%
	全体	67 7%	366 38%	490 51%	47 5%	970 100%

※ 道徳教育の大切さについて理解しているに肯定的に答えた学校が95%である。「特別の教科道徳」の大切さの理解も肯定的に答えた学校が9割近くになっている。ただ、道徳教育の目標の理解や「特別の教科道徳」の目標の理解となると、80～85%になっている。また、指導方法や評価になると、7割から5割程度に

なる。

さらに、道徳教育に熱心に取り組んでいる教師が多いと肯定的に答えた学校は7割近く、道徳教育は自分自身のことでもあると思っている教師が多いと肯定的に答えた学校が6割、道徳授業を楽しんでいることに肯定的に答えた学校が45%程度となっている。

小、中学校の比較を見ると、「特別の教科道徳」の理解度、方法、評価の理解度、道徳教育への熱心さや道徳の授業への熱心さにおいて、差がみられる。道徳教育を自分自身のことでもあると考えている教師が多いや、道徳の授業を楽しんでいる人が多いと肯定的に答えた学校においては、小、中学校差はあまりないと言える。

(2) 教師から見た家庭や地域の人々への意識

V-2 先生から見た家庭や地域の様子

	全体	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	ほとんど 思わない	不明
1. 子どもの道徳教育について熱心な保護者が多い	981 100	46 4.7	387 39.4	484 49.3	55 5.6	9 0.9
2. 子どもの道徳教育について熱心な地域の人々が多い	981 100	51 5.2	382 38.9	474 48.3	66 6.7	8 0.8
3. 地域の協力が得られている	981 100	131 13.4	498 50.8	290 29.6	55 5.6	7 0.7
4. 保護者の協力が得られている	981 100	117 11.9	556 56.7	272 27.7	30 3.1	6 0.6

※ 教師から見た家庭や地域の人々への意識においては、子どもの道徳教育に熱心な保護者が多いと肯定的に答えた学校は約45%、これは、子どもの道徳教育に熱心な地域の人々多いと肯定的に答えた学校耐えた学校の割合とほとんど同じである。また地域の協力が得られていると肯定的に答えた学校は約65%、保護者の協力は7割近くになっている。ただ全体にわたってほとんど思わないと回答した学校が5~6%ある。

(3) 教師の道徳教育に対する意識

VI-1 道徳教育に対する先生の意見

	校種別	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	ほとんど 変わって いない	合計
1、道徳の授業を積み重ねていけば子どもたちの道徳性は高められる	小学校	286 43%	316 48%	53 8%	5 1%	660 100%
	中学校	117 37%	160 51%	33 11%	3 1%	313 100%

	全体	403 41%	476 49%	86 9%	8 1%	973 100%
2、教師は自分の生き方を子どもたちにもっと話すべきだ	小学校	190 29%	315 48%	146 22%	9 1%	660 100%
	中学校	94 30%	145 46%	66 21%	8 3%	313 100%
	全体	284 29%	460 47%	212 22%	17 2%	973 100%
3、道徳教育は他律的な道徳性の育成が根幹にあって自律的な道徳性がはぐくまれる	小学校	113 17%	364 56%	158 24%	17 3%	652 100%
	中学校	41 13%	163 53%	97 32%	7 2%	308 100%
	全体	154 16%	527 55%	255 27%	24 3%	960 100%
4、どのような子どもたちも学校に来ればしっかりと成長できる	小学校	112 17%	315 48%	205 31%	24 4%	656 100%
	中学校	34 11%	142 45%	124 40%	13 4%	313 100%
	全体	146 15%	457 47%	329 34%	37 4%	969 100%
5、学力の育成は道徳教育を充実させることで高まる	小学校	149 23%	337 52%	160 24%	9 1%	655 100%
	中学校	54 17%	152 49%	93 30%	13 4%	312 100%
	全体	203 21%	489 51%	253 26%	22 2%	967 100%
6、体力の育成は道徳教育を充実させることで高まる	小学校	67 10%	252 38%	314 48%	23 4%	656 100%
	中学校	22 7%	100 32%	154 49%	36 12%	312 100%
	全体	89 9%	352 36%	468 48%	59 6%	968 100%
7、いじめなどの子どもたちの問題行動は道徳教育を充実させることである程度改善される	小学校	210 32%	382 58%	58 9%	6 1%	656 100%
	中学校	91 29%	177 57%	43 14%	1 0%	312 100%

	全体	301 31%	559 58%	101 10%	7 1%	968 100%
8、道徳教育を充実させることで家庭との連携が深まる	小学校	123 19%	352 54%	172 26%	10 2%	657 100%
	中学校	46 15%	149 48%	104 33%	13 4%	312 100%
	全体	169 17%	501 52%	276 29%	23 2%	969 100%
9、道徳教育を充実させることで地域との連携が深まる	小学校	95 15%	340 52%	203 31%	18 3%	656 100%
	中学校	34 11%	135 43%	121 39%	22 7%	312 100%
	全体	129 13%	475 49%	324 34%	40 4%	968 100%
10、「特別の教科 道徳」の時数を 40 時数くらいにするともっと多様な授業が工夫できる	小学校	29 4%	105 16%	400 61%	124 19%	658 100%
	中学校	14 5%	47 15%	173 55%	78 25%	312 100%
	全体	43	152	573	202	970
		4%	16%	59%	21%	100%
11、教員養成において、もっと道徳教育の単位をとれるようにし充実を図るべきだ	小学校	142 22%	259 40%	221 34%	34 5%	656 100%
	中学校	91 29%	135 43%	69 22%	16 5%	311 100%
	全体	233 24%	394 41%	290 30%	50 5%	967 100%
12、道徳の時間が「特別の教科 道徳」になったことに賛成である	小学校	120 18%	268 41%	195 30%	70 11%	653 100%
	中学校	50 16%	101 33%	114 37%	46 15%	311 100%
	全体	170 18%	369 38%	309 32%	116 12%	964 100%

※ 最も肯定的な回答が多かったのが「道徳の授業を積み重ねていけば子どもたちの道徳性は高められる」であり、9割を超える。また、「いじめなどの子どもたちの問題行動は道徳教育を充実させることである程度改善される」についても、9割近くの教師が肯定的に答えている。さらに「教師はもっと自分の生き方を話すべきだ」に肯定的に答えている教師が76%と高くなっている。学力の向上との関係も肯定的にとらえている教師が多く、先生方は全体的に道徳教育の効果を高く評価しているにとらえることができる。なお、道徳

の時間が、「特別の教科道徳」になったことに賛成だと肯定的にとらえた教師は55%になっている。
 小、中学校で比較してみると、差がみられるのは、地域との連携の効果で中学校がかなり低くなっている。
 また、教員養成課程の充実に関しては中学校教員の方が要望が高い。さらに「特別の教科道徳」になったことに対する肯定的回答は中学校が低くなっている。

(4) これからの道徳教育充実への要望

VI-2 これからの道徳教育の充実にとって要望すること

	全体	よく思う	まあまあ思う	あまり思わない	ほとんど思わない	不明
1. 道徳教育を充実させるための特別予算が欲しい	981 100	296 30.2	367 37.4	251 25.6	58 5.9	9 0.9
2. 道徳教育の指定校を多くしてほしい	981 100	77 7.8	226 23	525 53.5	143 14.6	10 1
3. 道徳の専門教師を加配してほしい	981 100	275 28	308 31.4	297 30.3	93 9.5	8 0.8
4. 道徳教育研修の機会を多くしてほしい	981 100	285 29.1	508 51.8	157 16	24 2.4	7 0.7
5. 文部科学省は道徳教育の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい	981 100	420 42.8	371 37.8	158 16.1	26 2.7	6 0.6
6. 文部科学省は「特別の教科道徳」の授業の進め方についてもう少し詳しい資料を発行してほしい	981 100	471 48	354 36.1	124 12.6	25 2.5	7 0.7

※ これからの道徳教育への要望については、道徳教育や「特別の教科道徳」の進め方に関する資料女房が高い。
 また特別予算への要望や研究機会を多くすることにも高い要望がある。

6. 教師の道徳教育に対する意識の傾向性 (因子分析による検討)

	因子		
	1	2	3
固有値	2.857	1.979	1.902
分散の説明率	23.811	16.491	15.847
1. 道徳の授業を積み重ねていけば子どもたちの道徳性は高められる	0.335	0.476	0.338
2. 教師は自分の生き方を子どもたちにもっと話すべきだ	0.169	0.613	0.127
3. 道徳教育は他律的な道徳性の育成が根幹にあつて自律的な道徳性がはぐくまれる	0.090	0.763	0.124
4. どのような子どもたちも学校に来ればしっかりと成長できる	0.222	0.694	-0.011
5. 学力の育成は道徳教育を充実させることで高まる	0.620	0.319	0.224
6. 体力の育成は道徳教育を充実させることで高まる	0.627	0.304	0.139
7. いじめなどの子どもたちの問題行動は道徳教育を充実させることである程度改善される	0.550	0.243	0.337
8. 道徳教育を充実させることで家庭との連携が深まる	0.846	0.114	0.185
9. 道徳教育を充実させることで地域との連携が深まる	0.849	0.110	0.164
10. 「特別の教科道徳」の時数を40時間くらいにするともっと多様な授業が工夫できる	0.281	0.141	0.511
11. 教員養成において、もっと道徳教育の単位をとれるようにし充実を図るべきだ	0.086	0.088	0.815
12. 道徳の時間が「特別の教科道徳」になったことに賛成である	0.235	0.080	0.766

※表中の統計量は、主因子解によるバリマックス回転後の因子負荷量

回転後の因子行列^a

	因子		
	1	2	3
5. 学力の育成は道德教育を充実させることで高まる	.540	.280	.324
3. 道德教育は他律的な道德性の育成が根幹にあって自律的な道德性がはぐまれる	.537	.096	.111
4. どのような子どもたちも学校に来ればしっかりと成長できる	.533	.130	.074
6. 体力の育成は道德教育を充実させることで高まる	.517	.281	.255
1. 道德の授業を積み重ねていけば子どもたちの道德性は高められる	.461	.206	.339
2. 教師は自分の生き方を子どもたちにもっと話すべきだ	.441	.147	.128
8. 道德教育を充実させることで家庭との連携が深まる	.267	.833	.251
9. 道德教育を充実させることで地域との連携が深まる	.286	.804	.223
12. 道德の時間が「特別の教科道德」になったことに賛成である	.139	.146	.732
11. 教員養成において、もっと道德教育の単位をとれるようにし充実を図るべきだ	.140	.131	.547
7. いじめなどの子どもたちの問題行動は道德教育を充実させることである程度改善される	.362	.354	.373
10. 「特別の教科道德」の時数を40時間くらいにするともっと多様な授業が工夫できる	.245	.205	.354

因子抽出法: 主因子法

回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法^a

a. 5 回の反復で回転が収束しました。

※ 因子分析による検討。

回答している教員が 12 項目の意見についてどう思うか、主因子法による因子分析を行った。3 因子構造が妥当であると考えられ、主因子法・バリマックス回転による因子分析を行った。明確な 3 つの因子が得られた。累積寄与率は、43.71 であった。

取り出した 3 因子について、次のように解釈された。

第 1 因子は、「道德教育を充実させれば、学校教育を高めたり育むことができる」と考えているため、「道德教育有効性因子」と名付けた。

第 2 因子は、「道德教育を充実させることで、家庭との連携が深まる。地域との連携が深まる」と考えていることから、「連携因子」とした。

第 3 因子は、「道德の時間が『特別の教科 道德』になったことに賛成である」「教員養成において、もっと道德教育の単位をとれるようにして充実を図るべきだ」と考えていることから、「制度化充実因子」とした。

これらの 3 つの因子が、教師の道德教育に対する意識の傾向性の背景にあることが明らかになった。